



芯パイプに鉄棒(鉄筋等)を通す仕様にした。

- ・太い鉄棒またはステンレス棒が手に入れば埋め殺しのほうがらく。(ただし、高額)
- (細い鉄棒(異型丸鋼D13等)の埋め殺しタイプだと錆びて折れたとき困る。溶接できればOK)

固定ブロックを少し離して並べる
 型枠板を置く
 本体(200mmパイプ)を立てる
 固定ブロックの間に芯パイプ高さ調整木片を置く
 芯パイプを通す。

コンクリートを5cm厚程度入れる
 埋め殺し板(下)を入れる
 コンクリート、栗石を入れる
 埋め殺し板(中)を入れる
 コンクリート、栗石を入れる
 埋め殺し板(上)を入れる
 コンクリートを入れる

<注意>

- ・倒れないよう土台(固定ブロック)を水平にする
- ・芯パイプを常に中心に置くよう心がける
- ・コンクリートは隙間ができないよう棒で突く
- ・強く突いて芯パイプを曲げないようにする
- ・強く突いて本体を浮き上がらせないようにする
- ・コンクリートは硬すぎず、柔らかすぎず
 (水が少ないと埋め殺し板の穴を通らない)
 (水が多いとセメント分が下から流れ出る)
- ・時間が経つとコンクリートが下がるので補充する
- ・本体に付いたコンクリートをふき取る布を用意する
 (水で流すと、下からセメント分が流れ出る)
- ・モルタル仕上げをすれば見た目がきれい